

## 結核 対策に御協力ください



## 結核の動向について

結核は、今でも全国で年間約10,000人の新しい患者が発生しており、日本の主要な感染症です。令和3年以降、結核り患率10.0未満（人口10万対）とする結核低まん延国の水準を達成していますが、徳島県は全国と比較すると、り患率は高い水準にあります。

新登録結核患者（新たに結核患者として登録された者）のうち**高齢者が約7割**を占めていますが、近年**若年の外国生まれ**の患者割合も増加しています。

結核の早期発見・治療完遂のため、次の4点についてご協力をお願いいたします。

## 1 結核の診断

結核を疑った場合は次の検査をお願いします。

- ①胸部エックス線撮影
  - ②菌検査
    - ・3日連続での喀痰抗酸菌塗抹検査、培養（同定）検査
    - ・結核菌群核酸増幅検査(TRC・PCR・LAMP法等)
- ⇒培養検査陽性の場合は、最適な抗結核薬の選択のため薬剤感受性検査を実施ください。

## 2 発生届（感染症法第12条、第77条）

診断後、**直ちに最寄りの保健所**へ発生届を提出してください。（罰金規定あり）  
以下の1～4はすべて届出が必要です。

- 1 結核患者（確定例）
- 2 無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）で結核医療を必要とする場合
- 3 疑似症患者
- 4 感染症死亡者（疑い含む）の死体

----- 提出前にご確認 をお願いします -----

- ☐ 患者の基本情報（氏名、生年月日、住所等）の記載
- ☐ 病型(肺結核・肺外結核・潜在性結核感染症)の記載
- ☐ 診断のために実施した検査はすべて記載
- ☐ 初診年月日および診断年月日の記載

## 3 感染症患者医療費公費負担申請

申請書を**患者の住所地を管轄する保健所**へ提出してください。

- ①入院勧告等による入院に係る医療(法第37条)
  - ②一般患者に対する医療（法第37条の2）
- \* ①は入院開始日が、②は保健所受理日が公費の始期となります。**申請書は患者住所地の保健所へ遅延なく提出してください。**

----- 提出前にご確認 をお願いします -----

- ☐ 医療開始日の記載
- ☐ 胸部エックス線データの提出  
⇒感染症診査協議会での診査のため必要

## 4 入退院届（法第53条の11）

病院管理者は結核患者が入院または退院したときは、**7日以内に最寄りの保健所**へ届出を提出してください。

※上記は全て、外国人の方も対象です。

問合せ先	郵便番号	住所	管轄区域	電話番号	FAX
徳島保健所	770-0855	徳島市新蔵町3丁目80	徳島市、鳴門市、小松島市 勝浦郡、名東郡、名西郡、板野郡	088-602-8907	088-652-9334
吉野川保健所	776-0010	吉野川市鴨島町鴨島106-2	吉野川市、阿波市	0883-36-9019	0883-22-1760
阿南保健所	774-0011	阿南市領家町野神319	阿南市、那賀郡	0884-28-9874	0884-22-6404
美波保健所	779-2305	美波町奥河内字弁才天17-1	海部郡	0884-74-7343	0884-74-7365
美馬保健所	777-0005	美馬市穴吹町穴吹字明連23	美馬市、美馬郡	0883-52-1018	0883-53-9446
三好保健所	778-0002	三好市池田町マチ2542-4	三好市、三好郡	0883-72-1123	0883-72-6884

# 結核診断から患者管理までの流れ

STEP

01

## 結核疑い～診察・問診のポイント



- ・咳、痰、微熱、倦怠感などが2週間以上続いている
- ・診断のための胸部画像検査・菌検査の実施
- ・菌検査：3日連続での喀痰塗抹検査、培養検査、同定検査

### ■喀痰抗酸菌検査

### 結核菌の検出

#### 喀痰塗抹検査

3回連続検痰実施  
(初回が2+以上であれば3回の必要無し)

#### 分離(喀痰)培養検査

小川培地、液体培地(MGIT™)

#### 核酸増幅検査

【例】 ※ () 内は商品名  
PCR法(アンプリコマイバクテリアム)、  
RT-PCR法(コバスTaqMan MTB)  
TMA法(DNA7 ローブ「FR」-MTD)、  
TRC法(TRC Rapid M.TB)、  
LAMP法(Loopamp結核菌群検出キット)

核酸増幅検査による結核菌検出は、  
必ず塗抹・培養検査を併行して行う

培養陽性

#### 同定検査

【例】 ※ () 内は商品名  
MPH法(DDHマイコバクテリア)  
IC法(キャピリアTB-Neo)  
核酸増幅検査

#### 薬剤感受性試験

比率法	約4週間
微量液体希釈法	約2週間
液体培地法	約1週間
耐性遺伝子検査	

#### 画像所見

胸部X線・CT等

結核患者であると診断  
するに足る所見

#### 病理組織検査

例：肺組織・リンパ節

乾酪性肉芽腫

ラングハンス巨細胞等

#### その他の方法

ツベルクリン反応  
IGRA検査  
(インターフェロンγ遊離試験)

#### IGRA検査：

BCGの影響を受けずに結核  
感染の有無を評価できる  
<例>

T-SPOT、QFT TB<sup>®</sup>ゴールドプラス

STEP

02

## 診断後“直ちに”発生届をご提出ください



- I 発生届(直ちに)
- II 感染症患者医療費負担申請書
- III 入退院届(7日以内)

STEP

03

## 治療開始から終了後2年間の支援の流れ

